



むさしむらやま



編集・発行／武蔵村山市教育委員会 〒208-8501 武蔵村山市本町1-1-1 TEL 042-565-1111 ◆問合せ先◆教育総務課 市役所内線424

第八小学校



11月10日（月）全校児童で記念集会



八小音頭を踊っている様子

第八小学校では、11月21日（金）に開校50周年記念式典を行いました。式典には、本市の市長、市議会議員をはじめ、これまで学校の発展にご尽力いただいた多くの方々にご参会いただきました。式典の結びには、参会者一同で、50年の歴史を深く味わうように、第八小学校の校歌を体育館いっばいに響かせました。第八小学校が地域と共に歩み、未来に向けてさらなる発展を誓う、記念すべき一歩となりました。



第三中学校



第三中学校では、11月6日（木）に開校50周年記念式典を行いました。式典は二部構成で行い、第二部では生徒会が主催し、第三中学校の歴史を紹介するとともに、武蔵村山市の観光大使であるかわいふみと河合郁人さんとのトークショーやけん玉チャレンジを行いました。



けん玉チャレンジの様子



開校50周年記念式典

新年のご挨拶

武蔵村山市教育長 池谷 光二



「あいさつで始まり、あいさつで終わる」

新年あけましておめでとうございませう。

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

人との出会いは、「あいさつで始まり、あいさつで終わる」と言われています。私自身、挨拶を通して、ある青年（当時は高校生）と心の輪を繋げることができたことがあります。

その青年は、近所に住んでいたのですが、夜遅くバイクを乗り回し騒音を立てるなどして、近所では疎ましく思われていました。

その青年と、週に数回、朝の時間、顔を合わせていました。初めはあいさつをしようか躊躇していたのですが、思い切って「おはようございます。」とあいさつを試してみました。その後、会うたびに繰り返しあいさつをしていくうちに、「おはようございます。」と、青年から先にあいさつしてくれるようになった。お仕事を頑張ってください。」という声もかけてく

教育委員に内野輝氏が就任

10月1日付で内野輝氏が教育委員に就任されました。なお、教育委員会の構成は次のとおりです。

職名	氏名	任期
教育長	池谷 光二	自 令和6年4月1日 至 令和9年3月31日
教育長職務代理者	大野 順布	自 令和6年1月1日 至 令和9年12月31日
教育委員	杉原 栄子	自 令和6年10月1日 至 令和10年9月30日
教育委員	潮 美和	自 令和4年10月1日 至 令和8年9月30日
教育委員	内野 輝	自 令和7年10月1日 至 令和11年9月30日

れるようになりましした。あいさつをするということ、人との心を繋げることになるんだなあと、この時、改めて実感したことも覚えています。

私は、心を豊かにするために、人とのよい交流をすることだと考えています。そして、よい交流をするための第一歩があいさつだと思っています。

新しい年を迎え、武蔵村山市の子供たちにも、今まで以上にあいさつを大切にしてほしいと強く願っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

教育長職務代理者 大野 順布



新春のお慶びを申し上げます。本市の子供たちは、私たちの街・武蔵村山のことを学ぶ「まちづくり学習」をしています。

そして、毎年多くの子供たちが学校から出て、デエダラまつりなどの場で市民の皆様と学習の成果や日ごろの学校での活動内容を披露しています。

一生懸命な子供たちの姿を目にした時には、ぜひ応援をお願いいたします。

本年も教育環境の充実に努めてまいります。

教育委員 杉原 栄子



新春のお慶びを申し上げます。先の村山デエダラまつりで、本市の小学生が、学習や部活動の成果を主体的に発表し、やり遂げた姿に深く感動しました。

昨今の急速な進展が著しい「生成AI」は、統計処理だけでなく、論理的に推論する機能も進化しつつあります。そのため、人間の発想や経験、的確な判断力が大切になってきます。子供たちが自ら考え、豊かな経験ができる一年でありますように見守ってまいります。

* 武蔵村山市の子供たちのために ～教育委員の抱負～

教育委員 潮 美和



新春のお慶びを申し上げます。毎年、小・中学校へ定例訪問をさせて

いただいておりますが、昨年はこれに加え、周年行事を開催した学校もあり多くの児童、生徒の皆さんとお会いする中、各学校、廊下ですれ違うと大きな声で挨拶をしてもらいました。元氣な挨拶は学校の中で良い連鎖に繋がると考えます。ご家庭、地域の方々のご協力と共に本年も教育活動を見守っていく所存です。

教育委員 内野 輝



新春のお慶びを申し上げます。昨年新たに教育委員を拝命いたしました。

今まで小学校PTAや学校運営協議会、青少年対役員、地域活動などを通して、子どもたちと関わってまいりました。

その経験を生かし、現役で小・中学生の子を持つ親として、保護者の立場からリアルな意見をお伝えしていければと考えております。

微力ではございますが、本市の子どもたちが健やかに成長できるよう、全力で努めてまいります。

「フルミスト点鼻薬」も対象です
まだ間に合う

小児インフルエンザ 予防接種費用助成



期間：**1月31日**（土）まで
対象：生後6か月以上13歳未満
（「フルミスト点鼻液」は2歳以上13歳未満のかた）

助成費用 / 回数※：

① 皮下注射 2,000円 / 2回まで

② 点鼻接種 4,000円 / 1回まで

持ち物：母子健康手帳、マイナ保険証等
接種医療機関：市内のみ（詳しくは市ホームページをご覧ください）

※医療機関が定めた接種費用から1回あたり2,000円または4,000円を差し引いた額を医療機関窓口でお支払いください。

接種期間を過ぎて接種した場合は**全額自己負担**となりますのでご注意ください。

問保健相談センター

☎565-9315 HP 1020578



感謝状を贈呈しました

11月6日（木）、不要になった中学校制服を必要とする家庭へ引き継いでいく“制服バンク”の取組に、クリーニングやクーポン配布によりご支援いただいた市内支援企業の皆様に感謝状を贈呈しました。



右より、株式会社天乃屋 様、株式会社文明堂東京 様、教育長、イオンモール株式会社イオンモールむさし村山 様、株式会社武蔵プライダールズ 様



甘いみかんを収穫する子供たち

11月1日（土）に、青少対第三地区委員会主催のみかん狩りを実施しました。今年で3回目となり、今回も小林農園で実施しました。
当日は、80名以上の子供たちが参加しました。学校を集合・解散場所として、青少対や教員が引率し、徒歩で小林農園に向かいました。農園の方から説明を聞いた後、早速子供たちは、思い思いに広い園内を歩き、おいしそうなみかんを木から取って食べました。食べ放題なので、お腹がいっぱいになるまでみかんを食べていました。たくさんのみかんを収穫できてとても嬉しそうでした。

みかん狩りは、子供たちに人気の行事として定着しつつあります。青少対の皆様には感謝申し上げます。

青少対主催「みかん狩り」 第三小学校



スーザン・サザードさんがアメリカでナガサキの原爆について出版した『Nagasaki Life After Nuclear War』の翻訳を行った宇治川康江さんをお招きし、講話をしていただきました。戦争、特にナガサキに落とされた原子爆弾について学習し、被ばく者の証言を基に被ばく者が受けた痛み・苦しみを紹介していただきました。そして、生存者が原爆をどのように経験したのか、家族、友人、地域社会、周囲にどのような影響を与えたのか、どのように幸福を実現していったのかについて、考えさせる授業を行いました。授業を受けての生徒の感想には、「ナガサキの原爆の話聞いて、これからご飯を残さず大切に食べることや、人に親切に接することを意識して、長く生きたいと感じました。」といった、日常の平和な生活、安らぎや人との関わりを大切にしたいという思いが見て取れました。

第2学年・平和学習 第三中学校

の取組を紹介します

設隣接型、施設分離型による

ている全国でも稀有な特長をもっています。

な高め合いのもと、教育活動が展開されています。

かし様々な取組を行っています。

づくりの取組を紹介します。

第一中学校 校長 森元 隆之

武蔵村山市よりゼロカーボンシティチャレンジ校の指定を受けて、一中校区の小学校と連携しながら各教科領域を通じて環境について自ら学び考える指導を実施しています。今年度は各



学年「ゼロカーボン」について学びつつ、自分ごととして捉える学習に重点を置いて取り組みました。

第十小学校 校長 今井 一馬

昨年度から取り組んでいる「まちづくり学習」を、今年度は総合的な学習の時間を軸にした、異学年での学び合いとして深化させています。昨年12月の研究発表会では、その成果を



発表させていただきました。未来の武蔵村山市を担う子供たち。今後その一人一人の可能性を伸ばしていきます。

第三中学校 校長 飯星 健司

第三中校区では、第三小・雷塚小と一体となって活動を行っています。書道・茶道・点字・手話・ストリートダンスやゼロカーボン学



習など多彩な体験を通して交流を深める「ふれあいフェスティバル」を開催し、地域と共に学びを広げました。

雷塚小学校 校長 赤坂 弘樹

本校は、「まちづくり学習」を校内研究に位置付けて教育活動を行っています。学区にある商店街や市内の商業施設や企業、公共施設の方々にご協力いただいて、学びが深まってい



ます。福祉事業所の方々のご協力で、市の特産物を活用したメニュー作りも進めています。

第五中学校 校長 大野 博史

第五中学校では「KKM（高齢者が暮らしやすい武蔵村山）」と「MMM（魅力ある武蔵村山）」という2つのプロジェクトに取り組んでいます。



中学生だからこそその視点で、武蔵村山をより素敵なまちにするためにできることを提案していきます。

大南学園第七小学校 校長 川口 周作

今年度の3年生の取組を紹介します。3年生の取組は「I 愛（ラブ）藍」です。社会科見学で学んだ村山大島紬から、武蔵村山の藍染について関心を高めた3年生が、藍染に挑戦。種から藍を育



て、葉から染液を抽出。ハンカチを染液に浸して、風になびかせたら綺麗な染物の完成です。

大南学園第四中学校 校長 福泉 宏介

大南学園として、第七小学校と施設隣接型一貫校を展開していることを強く意識し、お互いの学校の様子をもっと知るべく、今年度は本校教員が第七小学校に出かけ、七小生の授業を参観しました。



小学生の実態や成長する姿について七小の先生方と意見を交わし、相互理解を深めました。

第一小学校 校長 押本 純樹

花火大会、デエダラまつりで、本校の児童が作ったゼロカーボンの歌を披露しました。体育委員会では、この曲に合わせて「腹ペコ体操」のダンスを考え、運動会や休み時間に行い、全員で盛り上がりました。おかげでモリモリウィークも給食を残さず食べることが



できました。給食センターのトラックにも児童が作成したゼロカーボンポスターを貼り、市内に取組を宣伝しています。

特色ある学校づくり

市立学校では、施設一体型、施
いわゆる小中一貫教育の3つの型を展開し
各校区がそれぞれの特長を生かし、強い連携と豊か
また、各校、それぞれの特長を生
今年度各校が行った特色ある学校

第二小学校 校長 細田 真司

総合的な学習の時間の中で、まちづくり学習として、お囃子体験、水田学習、村山大島紬体験、みかん農園見学、村山うどん作り等を行っています。またモノレール延伸決定にともない、学区に2つの駅ができるため、モノレールに関する学習も充実してきました。



地域から多くの先輩方にご来校いただき、児童が地域の面白さを発見、体感しています。

第八小学校 校長 井口 洋

第八小学校は、学校運営協議会を中心に地域一体で子供たちを育んでいます。「ふれっチャクラブ」では、地域の方が講師となり、様々な講座で指導いただいています。また、算数の基



礎定着を図る「なるほど塾」でも、学校と地域が連携し、子供たちの確かな学力を培っています。

第三小学校 校長 佐々木 琢

国語の「話すこと・聞くこと」をテーマに研究を進めています。研究授業だけではなく、モジュールの時間を活用して、「研究を支える活動」として様々な形態の話し合い活動を行って



います。さらに教育活動全体を通して、「話すこと・聞くこと」に必要な力の向上を図っていきます。

第九小学校 校長 吉成 かおる

本校では1月に児童会選挙を行い、次年度の児童会委員を決めています。投票箱や記載台も実際の選挙で使用する物を市役所からお借りして行います。立候補者は「自分はこの学校に



していく」という思いを演説し、投票者はメモを取りながら真剣に話を聞いて選挙に臨みます。「自分たちの学校は自分たちで創る」という自主性を育てています。

村山学園 統括校長 井内 潔

本校の目指す児童・生徒像は「自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いている子」「自ら考えることができる子」「自分で判断できる子」です。このような児童・生徒を育成するために、小・中学校の教員が「指導観の一貫」を図りながら、義務教育9年間での系統的・継続的な指導をしています。また、施設一体型小中一貫校の本校では、毎月全児童・生徒が集まる「全校朝礼」を行っています。児童は生徒の姿から朝礼に臨む態度を学び、生徒は児童の模範となる態度で臨みます。このような日常の取組から施設一体型小中一貫校の良さを生かした教育活動を進め、特色のある学校づくりを行っています。



大南学園第七小学校

10月3日(金)「青島広志・ブレーメンオーケストラ」の皆さんをお招きして、音楽鑑賞教室を行いました。

演奏が始まると、生で聴くオーケストラの音に会場中があっという間に引き込まれていました。また、一緒にお越しいただいた歌手の方と第七小学校の校歌を歌う時間もありました。児童は、一流の音楽に満たされ、とても贅沢な時間を満喫することができました。



「Let's be one

～今 奏でる 心震わす合唱を～」



6年生学年合唱「Tomorrow」



9年生学年合唱「大地讃頌」

村山学園

10月25日(土)、小学部6年生から中学部9年生が合唱、S組が合奏を発表しました。2学期から金賞を目指して練習を重ねてきました。当日は、一人一人が想いを込めた歌声を響かせ、聴いている人たちの心を震わす合唱・合奏を届けていました。

NO MUSIC NO LIFE

みんなの音楽会

五中校区学校運営協議会

五中校区恒例の「みんなの音楽会」は、五中校区学運協が主催し、毎年行っている行事です。

二小

プラスバンド部



十小

吹奏楽クラブ



武蔵村山

さくら合奏団



八小

バトンクラブ



五中

吹奏楽部



武蔵村山ウインド

アンサンブル



11月1日(土)、八小バトンクラブ、二小プラスバンド部、十小吹奏楽クラブ、五中吹奏楽部に加え、武蔵村山さくら合奏団、武蔵村山ウインドアンサンブルの皆さんにもご参加いただき、演技、演奏をみんなで楽しみました。今年はスペシャルステージとして、会場にいる全員で「上を向いて歩こう」を歌いました。地域の一体感を味わうことができ、ご来賓の方々、保護者、地域の皆様をはじめ、たくさんの方々がいっぱいになった体育館に素敵な音楽が響き渡りました。

第七小学校での講演・学習

障がい者差別解消法講演

体育館に車いす同士がぶつかる「ガシャーン」という激しい音が響きます。体育館にいた6年生の児童は、一様に驚いた表情をしていました。

9月30日（火）に、車いすラグビー日本代表選手の小川仁士（おがわひとし）さんをお招きして、障がい者理解のための講演会及び車いすラグビーの体験会を行いました。

小川さんからは、点字ブロックのような物理的なバリアフリーは、個々のニーズに完全に合わせることは困難であり、だからこそ、まずは心のバリアフリーを広げ、困っている人に自然と声を掛けられる、温かい社会にしていくことが大切である、というお話をしていただきました。

その後、車いすラグビー体験をしました。多くの児童が車いすのぶつかる衝撃に、恐ろしい表情をしていました。慣れた後半には代表戦ながらの白熱したゲームが展開されました。



川選手とタッチを交わし、児童の記憶に残る貴重な体験となりました。

栄村との交流学习

武蔵村山市は、長野県栄村との姉妹都市交流を行っています。今回その事業の一環として、9月9日から11日までの3日間、栄村立栄小学校の6年生、12名を本校にお迎えし、交流学习を行いました。



本校では、高学年で教科担任制の指導を行っています。栄小学校では、ほとんどの教科を担当の先生が指導しているため、栄小のお子さん達には、刺激的で興味深い授業のスタイルになったようです。

児童同士は、対面式直後から積極的にコミュニケーションを交わしており、互いの地域や趣味、特技などについて話す中で、関係性を深めていました。

最終日のお別れ会では、アーチを作ってお見送りしました。涙を流して見送る子もいました。

今後も、栄村とは様々な学年、様々な形で交流を深め、双方の地域、学校の発展につなげていきたいと考えています。

令和7年度薬物乱用防止ポスター・標語武蔵村山地区選考入賞作品展

市内中学生を対象に募集し、入賞した作品の展示会を行います。

日時：1月11日（日）～13日（火）

午前10時～午後9時

※13日（火）は午後5時まで

場所：イオンモールむさし村山
2階センターブリッジ
（フードコート付近）

図保健相談センター ☎565-9315

HP 1012337

令和8年「20歳を祝う会」

HP 1005869

式典（代表者の誓いの言葉など）とアトラクションの2部構成で行います。一生に一度しか参加できないイベントに、ぜひご参加ください。

▶日時：1月12日（月・祝）

午前11時～午後0時30分

（受付午前10時30分～）

▶場所：さくらホール（市民会館）大ホール

▶対象：平成17年4月2日から
平成18年4月1日に生まれた
市内在住のかた等



※対象者のかたには、12月上旬にご案内のはがきをお送りしております。

※原則、保護者の入場はできません。（付き添いが必要である場合を除く）

生涯学習フェスティバルの様子

生涯学習フェスティバルを
市民文化祭と
合同開催しました

11月2日（日）に生涯学習フェスティバルを市民文化祭と合同で開催しました。

当日は舞台公演や体験コーナーを設け、大勢の方にご来場いただき、楽しく充実したイベントとなりました。催しの運営にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

自分にぴったりの本を

見つけよう

～ティーンズコーナー～

雷塚図書館では、中高生世代を中心に楽しめる「ティーンズコーナー」を設けています。

なかでも、「ライトノベル」を多く取り扱っています。ライトノベルは、会話が多くテンポよく読める文体と、アニメ風のイラストが特徴の小説です。ファンタジーや学園もの、恋愛、冒険など、様々な世界を舞台にした物語があり、読書が苦手な方でも気軽に楽しめます。

人気シリーズの続刊や、アニメ化された話題作など、幅広くそろえています。

登場人物の成長や友情、夢に向かう姿に共感できる作品も多くあります。ぜひ、一度ティーンズコーナーをごらんください。



雷塚図書館

☎042-564-1284

図書館DXでもっと身近な図書館へ Part 1

調べものやレポート作成などにも役立つ

「オンラインデータベース」導入！

新聞記事や最新の各種事典などの情報を簡単に検索・閲覧できます。

■6つのコンテンツ

読売新聞

朝日新聞

毎日新聞

日本経済新聞

ジャパンナレッジ

官報



このほか、スマートフォンで使える「デジタル図書館カード」や手続が24時間行える「電子（オンライン）申請」など、便利なサービスが充実しています。

詳しくは図書館ホームページをご覧ください。



『ふゆのうま』（手島 圭三郎 絵本塾出版）
枯葉が舞散る中で、枯れ葉の少女は、冬の馬を待っています。少女が冬の馬に乗って大空を駆け回ると、大自然の中から、いろいろな生き物が現われて、冬ならではの様々な現象が起こります。

『じいちゃんとうま』（横内 襄作 福音館書店）
しんさくじいちゃんの家ではおとなしいけれど、大きくて力強い馬を飼っています。じいちゃんと馬は、一緒に山へ出かけ、しいたけを採り、馬の力を借りて作業します。物語の後半では、じいちゃんと馬が力比べの大会に出て活躍します。

『バレエをおどりたかった馬』（H・ストルテンベルグ 作 菱木 晃子 訳 さとうあや 絵 福音館書店）
いなかに住んでいたある馬のお話。ある日、馬は道に迷った旅のバレエ団と出会います。馬が町まで道案内すると、お礼にバレエを見せてくれました。
感動した馬は、自分もバレエを踊りたいと思い、バレエ学校のある町に出かけます。

午（うま）年におすすめ！
午・馬・うまの本



『メリーゴーランドのちいさなうま』（やまもと しろうぞう 作 やまもと まもる 絵 幻冬舎メディアコンサルティング）
遊園地にあるメリーゴーランドの仔馬のタイニーは、子供達に背中に乗ってもらえず、いつも寂しい思いをしています。ある嵐の日、タイニーの背中に小鳥の巣が飛んできました。小鳥をタイニーの背中で育てることになり、ますます子供達に乗ってもらえなくなりますが…。

『あおいうま』（ナタン・アール 作 リュシル・ビュッテル 絵 パロル 舎）
年をとった青い馬が、おしやれをして町へ出かけます。青い馬は町で買い物や食事を楽しみます。その帰り道で見つけたものとは…。

『スーホの白い馬』（大塚 勇三 再話 赤羽末吉 画 福音館書店）
羊飼いの少年スーホは、白馬を大切に育てましたが、町のとのさまはその白馬をとりあげました。白馬は逃げ出し、傷つきながらスーホのもとに戻りますが、死んでしまいました。ある晩、スーホの夢にでてきた白馬は、願いを伝えます。スーホはその願いを叶えるため、約束を果たします。



ここで紹介した本は、市内各図書館で借りられる本です。冬休みにぜひお読みください。今年も図書館での読書をお楽しみください。



10月5日(日)に総合体育館第一体育室で「武蔵村山市スポーツ都市宣言」を記念し、最先端テクノロジースポーツが融合したARスポーツ「HADO」の体験会を開催しました。

子供から大人まで幅広い世代の方が参加し、3対3の対戦形式で熱戦を繰り広げました。

スポーツ都市宣言記念事業
「いきいきわくわくスポーツ教室」
開催！

区 分	男子の部
優 勝	一小 生麦生米生卵
準 優 勝	十小 こんチーズ
第 三 位	三小 最強ベイベーズ
	七小 津田ーズFC
区 分	女子の部
優 勝	一小 ゴリラーズ
準 優 勝	三小 丘の上女子777
第 三 位	十小 レンジャーズ

11月15日(土)に総合運動公園第1・2運動場で第42回少年少女サッカー大会が開催され、市内の各小学校から集まった4年生から6年生までの男女18チームが熱戦を繰り広げました。

試合は、男子の部15チーム・予選リーグ、決勝トーナメント戦、女子の部3チーム・リーグ戦により行われ、男子の部は「一小 生麦生米生卵」、女子の部は「一小 ゴリラーズ」が優勝しました。

各部門の入賞チームは表のとおりです。

第42回少年少女
サッカー大会を開催しました



12月14日(日)に市民駅伝競走大会が、総合体育館前をスタート・ゴールとする14・75km、6区間のコースで開催されました。

雨の中での開催となりましたが、今大会は姉妹都市である長野県栄村からの3チームを含む特別参加が4チーム、一般の部40チーム、地域の部11チーム、女子の部7チーム、中学生男子の部9チーム、中学生女子の部6チーム、小学生男子の部9

第52回市民駅伝競走大会
全90チームが力走

【各部門優勝チーム】

部門	チーム名	タイム
一 般 の 部	村山ジョニーズ	49分29秒
地 域 の 部	谷津ランナーズA	57分38秒
女 子 の 部	峰自治会女子	1 時間 9 分12秒
中学生男子の部	五中陸上部A	55分 7 秒
中学生女子の部	五中陸上部A	1 時間 6 分 1 秒
小学生男子の部	一小四六四九	1 時間57秒
小学生女子の部	ミニバス翼	1 時間 9 分19秒

チーム、小学生女子の部4チームが参加し、多くのランナーが襷を繋ぎました。

青梅街道を走るコースでは、沿道からたくさんの方の応援を受けたランナー達が元気な走りを見せ、盛況のうちに終了しました。

各部門の優勝チーム及びタイムは表のとおりです。

(市HP:1010008)

ALT Column

In November, I had the opportunity to enjoy the beautiful fall scenery at the Fujikawaguchiko Autumn Leaves Festival in Yamanashi. There, I had the chance to see the iconic mountain up close and surrounded by crimson leaves. Due to the cloudy weather, it was difficult to see the mountain in its entirety at the festival. But its presence alone was enough to feel its beauty and strength. Trees covered in red and orange were scattered throughout the town, a reminder of the cool and crisp fall season. The colors were especially vibrant in the Maple Corridor, a side street completely lined with maple trees. Near the corridor were various vendors selling handmade goods such as tableware, sake glasses, and jewelry. At night, the scenery shined even more as lights illuminated the area. One of the first things many foreigners think of when it comes to Japan is Mt. Fuji. It's a symbol known all around the world for its impressive image. For some of us, Mt. Fuji resembles parts of our homes. One mountain it closely represents is Mt. Rainier in Washington, USA. Standing 4,392 meters high, Mt. Rainier is a symbol of Washington state. It can be seen from across the state and is held closely in the hearts of the people who reside there. As someone from Washington, when I look at Mt. Fuji, it reminds me of where I came from. Even over 5000 miles away, the mountain makes me feel at home.

11月、私は山梨県で開催された「富士河口湖紅葉まつり」で、美しい秋の景色を満喫しました。そこで、真紅の葉に囲まれながら、間近にそびえる富士山の姿を眺めることができました。曇り空のため、富士山全体をはっきり見ることは難しかったものの、その存在感だけで迫力と美しさを感じられました。町のあちこちには赤や橙に色づいた木々が並び、秋の冷んやりとした空気を感じさせてくれます。特に、もみじが道を覆うように並ぶ「紅葉回廊」の彩りは見事でした。近くには、食器、ぐいのみ、アクセサリなどの手作り雑貨を販売する店も立ち並んでいました。夜になるとライトアップされ、昼とは違う幻想的な景色が広がります。

多くの外国人にとって、日本といえばまず思い浮かぶのが富士山です。世界中で知られる象徴的な存在ですが、私たちの中には、故郷の山を重ね合わせる人もいます。アメリカ・ワシントン州にあるレーニア山は、そのひとつです。標高4,392メートルのレーニア山は州の象徴であり、遠くからでもその姿を望むことができ、地元の人々にとって特別な山です。ワシントン州出身の私にとって、富士山を見ると故郷を思い出します。5,000マイル以上離れていても、この山はどこか懐かしさを感じさせてくれます。



教育長・教育委員の動き（10月～12月）

- 10月 5日(日) 令和7年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業 いきいきわくわくスポーツ教室 開会式
- 10月 8日(水) 東京都市教育長会
- 10月17日(金) 第10回教育委員会定例会
- 10月19日(日) 第20回地区ふれあいスポレク大会
- 10月31日(金) 教育委員定例学校訪問
- 11月 2日(日) 第56回市民文化祭及び第28回生涯学習フェスティバル 開会式
- 11月3日(月・祝) 自治功労者・一般表彰者表彰式
- 11月 4日(火) 令和7年度東京都市町村教育委員会連合会第3ブロック研修会
- 11月 6日(木) 第三中学校開校50周年記念式典
- 11月8日(土)及び9日(日) 第17回村山デエダラまつり開会式・閉会式
- 11月12日(水) 東京都市教育長会
- 11月15日(土) 令和7年度少年少女スポーツ大会第42回少年少女サッカー大会 開会式・閉会式

- 11月21日(金) 第11回教育委員会定例会 第八小学校開校50周年記念式典
- 11月30日(日) 第14回武蔵村山市小・中学生百人一首大会開会式・閉会式
- 12月14日(日) 第52回武蔵村山市民駅伝競走大会
- 12月19日(金) 第12回教育委員会定例会
- 12月26日(金) 令和7年仕事納め式

教育委員会提出議案（9月～11月）

提出議案9件（うち可決された議案9件）

主な可決議案

・武蔵村山市立学校の令和8年度入学式及び卒業証書授与式の日程について

詳しくは、市ホームページ **HP 1000824** をご覧ください。

令和8年1月～3月 主な教育委員会関係事業予定

事業名	開催日	場所	対象者等	問合せ先
令和8年「20歳を祝う会」	1/12(月・祝)	さくらホール (市民会館)	平成17年4月2日～ 平成18年4月1日生まれの市民等	文化振興課
第23回少年少女ドッジボール大会	1/31(土)	総合体育館	市内小学生(3年生以上)	スポーツ振興課

教育委員会X(旧:Twitter)



「教育むさしむらやま」へのご意見・ご感想をお寄せください。

